

施設の概要



- 敷地の広さ: 5,729.56平方メートル
- 収集エリア: 養老町・海津市
- 処理できる能力: 1日に65キロリットル
 - ◎し尿 1日に8キロリットル
 - ◎浄化槽汚泥 1日に57キロリットル
- 水処理方式: 前脱水+循環式脱窒素処理+活性炭吸着+紫外線滅菌
- 資源化方式: 汚泥助燃剤化方式
- 放流先: 牧田川
- 建設にかかった期間: 令和2年(2020年)4月1日～令和6年(2024年)3月22日



中央監視室
処理の流れや機械の運転状況を監視します。



水質試験室
水質を分析して処理状況を確認します。

メモ

衛生センター (汚泥再生処理センター)

〒503-1314 岐阜県養老郡養老町高田1859番地
Tel. 0584-32-0970 / Fax. 0584-34-2789

衛生センター (汚泥再生処理センター)



みなさんこんにちは。
この施設はみんなの家や学校から
出るし尿と浄化槽汚泥を
きれいな水にする施設なんじゃ。

この施設はみんなの川や
自然を守るためにあるんだよ。
中ではどんなことが行われているのか、
見に行ってみましょう!



南濃衛生施設利用事務組合

せいせい

おでいさいせいしょり

やくわり

衛生センター(汚泥再生処理センター)の役割

汲取りトイレにたまつたうんちやおしっこのことを
し尿、水洗トイレや台所、お風呂からの排水を処理す
る浄化槽汚泥といいます。

汚れのもととなる固まりは、水分を
しぶってごみと一緒に燃やす助燃剤
となり、有効利用されます。

衛生センターではし尿・浄化槽汚泥を1日
65kL(一般的なお風呂の217杯くらい
です)きれいな水に生まれ変わらせます。

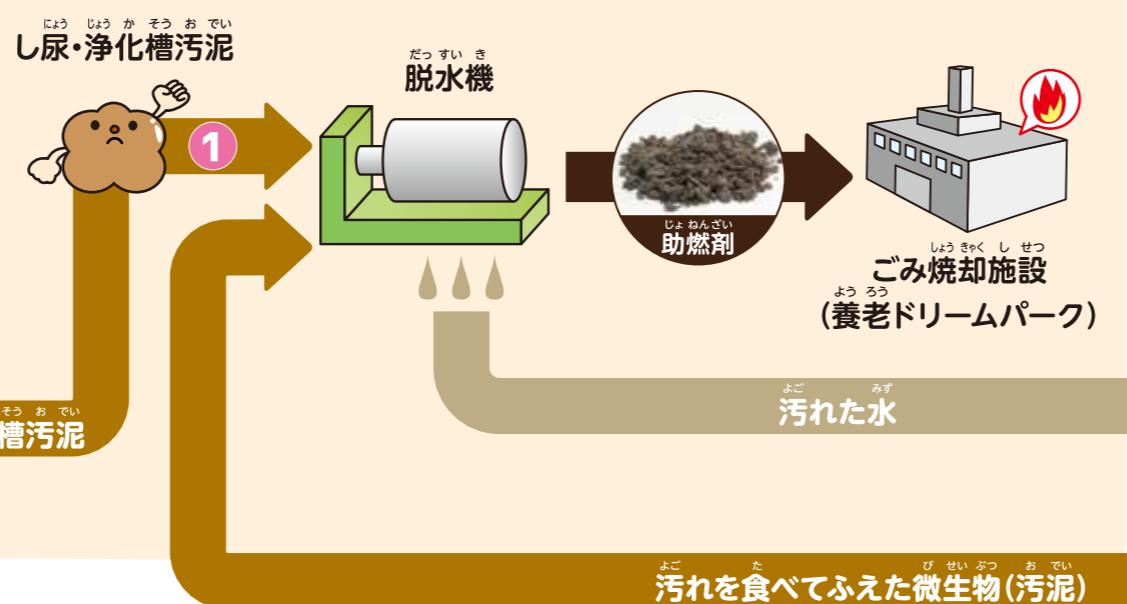
受入・中継設備

養老町と海津市から集められたし尿・浄化槽汚泥は
バキューム車で衛生センター(汚泥再生処理セン
ター)に運ばれてきます。



汚泥処理(資源化)設備

し尿・浄化槽汚泥は脱水機でしぶって助燃剤にしてごみ焼却施設で有効利用します。
助燃剤は燃えやすいので、ごみ焼却施設の燃料が節約されます。汚れた水は主処理設備に
送られます。



主処理設備

微生物が汚れを食べることで、水がきれいになります。また、膜分離装置により微生物が
食べられない細かい汚れを分けています。微生物は汚れを食べることで、どんどん
増えています。増えた微生物は脱水機に送られます。



3 膜透過液

高度処理設備／消毒・放流設備

微生物が食べられなかった汚れを活性炭で取り除き、
最後に紫外線で消毒してから川に放流します。



4 放流水

脱臭設備

場内に出た臭いは微生物と活性炭で取り除き、きれいな空気にして大気に放出します。



高濃度臭気用
活性炭吸着塔

低濃度臭気用
活性炭吸着塔

微生物で取りきれなかった臭いを
活性炭で取り除きます。